

第18回北九州市外郭団体評価会議 開催概要

- 1 開催日時:令和5年7月6日(木) 14時00分~16時00分
- 2 開催場所:Web開催
- 3 出席者:明石座長、今泉氏、加藤氏、出口氏、能美氏、福地氏
外郭団体所管課及び外郭団体担当者
- 4 議題:令和5年度ミッション遂行評価票(活動計画)について
- 5 議事要旨

(1) 北九州市住宅供給公社(公社賃貸住宅の活用について)

<構成員コメント>

- ・一般賃貸住宅20団地のうち、生活利便性が良いが入居率が悪い団地については、需要を確保することを前提に、民間に土地の所有権を移管するという施策もあるのではないかと。
- ・公社賃貸住宅の建て替え等を行う場合、住民に対して、工事が終わったらまた戻れるよう、契約や補償等でしっかりケアしていく必要があるのではないかと。

<団体等コメント>

- ・公社賃貸住宅のうち利便性の高い団地についてはそれを種地にして建て替え等を行い、民間では手薄なファミリー層向けの賃貸住宅を供給するなど、住宅確保困難者に対する住宅セーフティネットの役割をしっかりと果たしていく。
- ・平成28年から一般賃貸住宅を対象に、新卒者等の若者の入居を促進するため割引制度を実施しており、大学の事務局等へのPRや、「若者ワークプラザ」や「北九州新卒応援ハローワーク」など学生等の若者の目に触れる施設を通じて色々な案内を行っている。

(2) 北九州高速鉄道(株)(団体の経営状況について)

<構成員コメント>

- ・老朽化した施設については、新規更新していかなければならないので、設備投資を会社で負担するのは無理があると思う。設備を全部市が持ち、外郭団体は運営を行うような形でやらないと、経営的に耐えられないのではないかと。

<団体等コメント>

- ・設備更新については、更新費用の低廉化や資金調達など市と検討を行っている。また、資産の持ち方・あり方についても議論を行っている。

(3) 皿倉登山鉄道(株)(団体の経営状況について)

<構成員コメント>

- ・新三大夜景を追い風に利用客を増やすため、一般市民向けの施策として、地元の若い人たちがまた行きたくな

るようなプロモーション（例えば、年間パスポート等を発売する等、何回も行っていただくような仕掛け）があると良いのではないかと。

- ・ケーブルカーまでのアクセスとして今年4月から社会実験として実施している、小倉駅から皿倉山までのシャトルバスなどを含め、デジタル媒体を活用してアピールを行い、来客数を増やしてほしい。

<団体等コメント>

- ・集客に向けた新たな取り組みとして、ジ・アウトレットや小倉駅を起点とした無料シャトルバスを運行しており、また、今年度は、公募による展望台レストランの新たな事業者を募集したり、キッチンカー営業等を実施する予定である。
- ・シャトルバス小倉便については、乗客数が予想以上に多く、ある程度浸透していると思うが、皿倉山のホームページの充実等、まだ足りないところもあると思うのでしっかり広報していきたい。

(4) 北九州市どうぶつ公園協会（団体の経営状況について）

<構成員コメント>

- ・駐車場事業で安定的な収益があると思うが、一方で餌代等の負担や人口減に伴う来場者の減少、動物の減少等で経営環境的には厳しくなっていくと思う。
- ・動物園は市民にとって無くてはならない施設である。市が補填をしながらでも施設を存続させるのかどうか、議論が必要なフェーズに来ているのではないかとと思う。
- ・施設を存続させるためには、動物の世話や設備維持等、必要な職員の雇用をしっかりと維持する必要がある。また、職員の世代交代も進んでいくと思うので、それを見越した人員配置計画やビジョンを作る必要があるのではないかと。
- ・収益を向上させるためには、インバウンドや他県の修学旅行客獲得に向け、市の観光戦略と連動させた取り組みが必要ではないかと。
- ・子どもの集客に向け、教育施設や保育施設とタイアップするのも1つの手かと思う。

<団体等コメント>

- ・20年以上前に、民営の動物園を市が引き継ぐ形で到津の森公園を存続した経緯がある。市民の強い思いで存続してきた歴史がある。また、開園から20年を迎え、今後、2050年ぐらいを目途とした、将来計画を考えていく予定にしている。頂いたご意見等も踏まえながら、計画を立てていきたい。
- ・団体確保、特に修学旅行等に向けては、コンベンション協会等と連携して、他県に対するPR等を実施している。また、若い大学生や高校生の集客増を図るため、昨年、小倉北区役所の協力のもと、園内で動画を撮ってSNSでアップする取り組みを実施した。さらに、4月から南側ゲート側に新たな飲食施設もできており、そこから若い人を集客できないか検討中である。